

2024年度

環境経営レポート

(対象期間：2024年2月～2025年1月)



発行日 2025年5月16日

 株式会社 国光産業

目次

目次	1
国光産業のSDGs達成に向けた取り組み	2
1. 組織の概要	3
2. 認証・登録の対象範囲(全組織・全活動)	7
3. 環境経営方針	8
4. 環境経営目標	9
5. 環境経営目標の実績	10
6. 環境経営計画の取組み結果と評価	11
7. 環境経営目標の結果とその評価、次年度の取組内容	13
その他(活動報告)	18
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反・訴訟等の有無	23
9. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	24

国光産業のSDGs達成に向けた取り組み



SDGsとは17の目標と169のターゲットからなり、2030年までにこれらの目標を達成する為に採択された国際目標です。

国光産業ではこの趣旨に賛同し、『私たちができる事』から少しずつ貢献しております。

働く人の生きがい・健康を守る

- ・定期健診の全社員受診や定期健診後の治療
- ・保健指導を推進
- ・感染症の予防接種費用の負担
- ・資格取得支援
- ・育児休暇制度の取得推進

環境に配慮した取組み

- ・施設内で自然発酵させた有機肥料の生産・販売
- ・有機農薬の推進
- ・廃棄物排出量の削減
- ・二酸化炭素・燃料使用量の削減
- ・グリーン購入の推進

1. 組織の概要

【1】 名称及び代表者名

事業所名 株式会社 国光産業
代表者氏名 代表取締役社長 豊原 敏行

【2】 所在地

本 社 〒838-0056 福岡県朝倉市中原208-2
事務所及び工場 〒838-0058 福岡県朝倉市馬田3311-1

【3】 環境管理責任者及び推進担当者

環境管理責任者 代表取締役社長 豊原 敏行
環境推進担当者 松岡 美幸
連絡先 TEL 0946-22-3671
FAX 0946-22-0065
Eメールアドレス kunimituoffice@nifty.com

【4】 事業の概要

飼料・肥料製造販売
産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業(中間処理)
業務委託(ビール工場内設備管理)

【5】 事業の規模

(事業年度:2月1日~翌年1月31日)

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	257	275	292
従業員数	人	24	25	25
敷地面積	m ²	6380	6,380	6,380

【6】 対象組織



法人設立年月日 昭和40年 2月
資本金 1,000万円
売上高 2,5億円【平成30年度】

許可内容 産業廃棄物収集運搬業許可証福岡県知事許可
(優良事業者認定取得済み)

許可番号 第04000008051号
(積替え保管なし)

許可年月日 令和3年9月2日

許可の有効期限 令和8年9月1日

事業範囲 廃プラスチック、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については自動車等破砕物を除く)
燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アクリル、紙くず、木くず
繊維くず、動植物性残渣、がれき類、ばいじん
以上14品目

許可内容 産業廃棄物処分業許可証福岡県知事許可
(優良事業者認定取得済み)

許可番号 第04020008051号
(積替え保管なし)

許可年月日 令和3年9月2日

許可の有効期限 令和8年9月1日

事業範囲 中間処理(発酵)汚泥、動植物性残渣 以上2品目
中間処理(破砕)廃プラスチック類、ガラスくず等(以上2品目については、自動車等破砕物を除く)
中間処理(圧縮)金属くず、(自動車等破砕物を除く)
以上1品目

飼料取扱量 約10,000t/年



施設等の状況

収集運搬関係	ダンプ車	4t	4台
	キャブオーバ	2t	1台
	キャブオーバ	4t	4台



処分関係

① 発酵施設	処理能力	汚泥、動植物性残渣	2.25t/日
② 破碎施設	処理能力	廃プラスチック	1.53t/日
		ガラスくず等	3.02t/日
③ 圧縮施設	処理能力	金属くず	4.89t/日

処理実績

2024年 産業廃棄物収集運搬量【t】

汚泥	1991.30
動植物性残渣	724.10
工水	3.97
排水残渣	40.55

2024年 産業廃棄物中間処理量【t】

残渣(動植物性)	3.20
工水	3.97
排水残渣	40.55
再資源化等量小計	47.72
中間処理後処分量合計	47.72

棄処分料金 見積もり対応



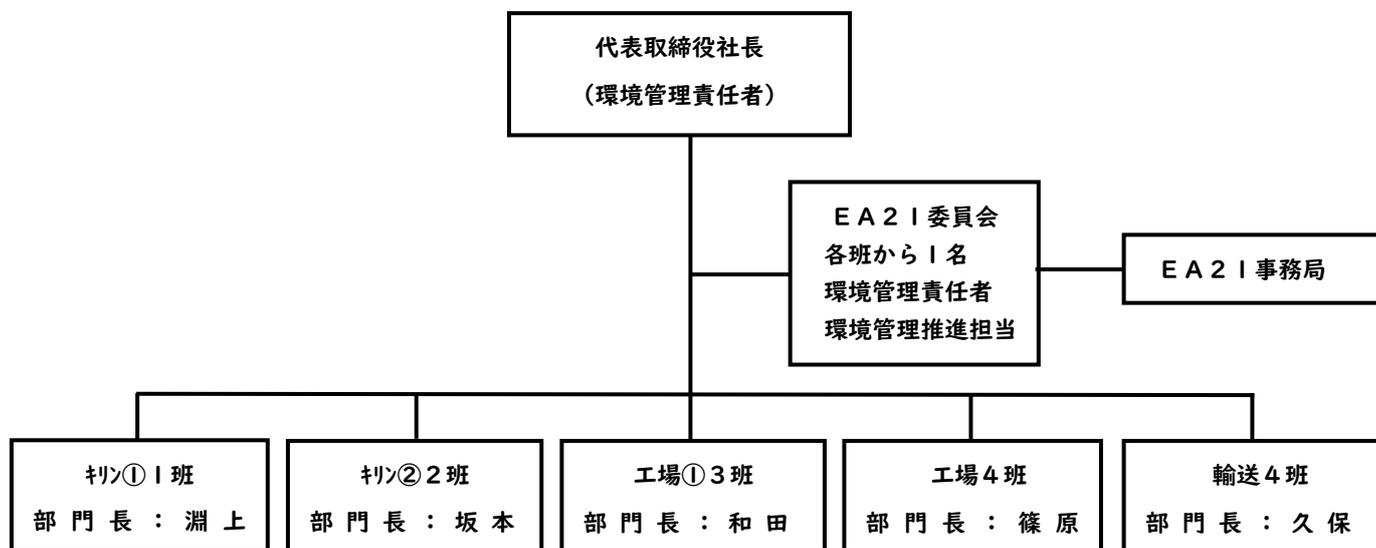
施設の概要(中間処理施設)	
処理施設の種類	発酵施設
設置場所	福岡県朝倉市馬田3314番外2筆
設置年月日	2011年7月20日
処理能力	2.25t/日(24hr)
廃棄物の種類	排水残渣、動物性残渣
処理施設の処理方式及び設備の概要	<pre> graph LR A[排水残渣] --> B[一次発酵施設] C[工水] --> B D[動植物性残渣] --> B B --> E[発酵(攪拌) 二次発酵施設] E --> F[発酵(熟成) 三次発酵施設 発酵槽 ①②③④] F --> G[袋詰] G --> H[出荷] </pre> <p>1.搬入物を一次発酵施設にて混合攪拌を行う 2.二次発酵施設にて攪拌を行いながら1週間発酵させる 3.二次発酵施設の全量を三次発酵施設の発酵槽①に移す 4.以後1週間ごとに三次発酵施設で①→②→③→④と移していく</p>
環境保全設備の概要	<p>【発行時に発生するガスの対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱臭施設でガスを吸着→ 発酵施設内にダクトを設置し、その先を脱臭設備のブロワーに接続している ・発酵ガスを循環→ 発酵施設で発生したガスを再びブロワーで堆肥の中に送り循環させる

備考 現在、「破碎」及び「圧縮」に関しては事業を実施していない

2. 認証・登録の対象範囲(全組織・全活動)

対象組織: 本社、事務所・工場、製品置場

活動内容: 飼料製造販売、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業(中間処理)



役割分担表

所属	役割・責任・権限
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し環境実績を向上させる 環境経営目標、環境経営計画を作成する 3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を確認する 上記の結果を代表者に報告する 環境経営方針以外の制改定責任者
環境管理推進担当	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、適切な運用を推進する 環境経営システムの文書作成・管理・レポートの作成
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 環境方針を作成・見直し、従業員に周知する 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する 環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する 経営における課題とチャンスを整理し明確にする
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月に1度開催する 四半期毎の進捗状況を確認する
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> EA21の記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長 (部長or課長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する 自部門に関連する法規制等を順守する 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する 自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針・環境目標・実施体制の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

3.環境経営方針

環境経営方針

株式会社 国光産業は、リサイクルに係わる環境問題に取り組む事を企業の社会的責任であると認識し、従業員一丸となって環境活動に取り組むとともに継続的な環境経営を行い、SDGsの目標達成に向けた活動に積極的に取り組みます。

1. 地球環境の保全のために、継続的な環境改善活動を実施し次の事項について環境負荷削減に努めます。
 - (1)電気使用量、燃料使用量、二酸化炭素排出量
 - (2)廃棄物(一般・産業)排出量
 - (3)水使用量(節水)
2. 事務用品のグリーン購入の促進に取り組みます。
3. 受託した産業廃棄物の収集運搬及び処分に関わる環境負荷の低減に取り組みます。
4. 環境に関する法規とその他の環境関連要求事項を遵守します。
5. 全従業員が環境経営方針を理解し自らの役割を十分に認識し本方針に沿って活動が行われるように環境教育を進めます。

改定日 2023年2月1日
株式会社国光産業
代表取締役 豊原敏行



4. 環境経営目標

備考：

環境経営目標		単位	該当事業所	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
				基準年度実績	2022年度目標(-4%)	2023年度目標(-5%)	2024年度目標(-6%)	2025年度目標(-7%)
1	二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2	全社	177,445	170,347	168,573	166,798	165,024
(1)	電気使用量の削減	kWh	全社	53,035	50,914	50,383	49,853	49,323
(2)	ガソリン使用量の削減	L	全社	6,119	5,874	5,813	5,752	5,691
(3)	軽油使用量の削減	L	全社	51,915	49,839	49,320	48,800	48,281
2	一般廃棄物排出削減	Kg	全社	624	599	593	587	580
	産業廃棄物排出量の削減	t	全社	18.06	17.34	17.16	16.98	16.80
3	水使用量の削減	m ³ /月	全社	節水	35.6	35.3	34.9	34.5
4	グリーン購入の推進	%	全社	38	50.5	51.0	51.5	52.0
5	紙使用量の削減	枚	全体	10,654	22,899	22,667	22,436	22,205
6	燃費向上	km/L	全体	-	5.96 ※1	6.02	6.08	6.14

%は、2019年度の実績をベースとしての削減率を示す。

※1 2021年度の全車両の燃費の平均を目標とする。

二酸化炭素排出係数は2019年度、九州電力調整後 0.370-CO2/kwhと
2019年度、アメニティ電力調整後 0.447-CO2/kwhを使用

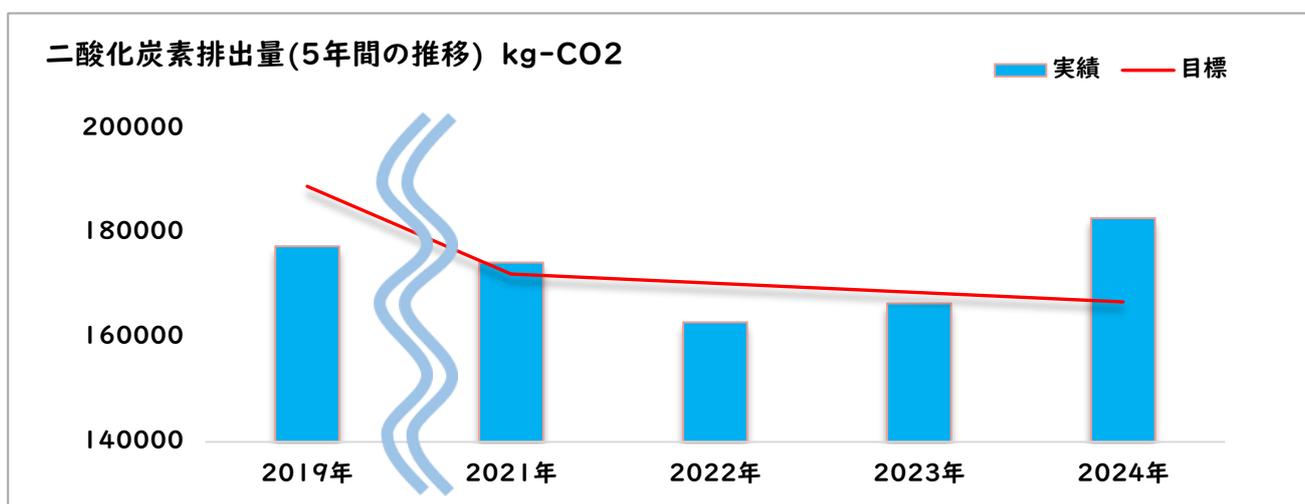


5. 環境経営目標の実績

エコアクション21を運用した2023年2月～2024年1月における目標に対する実績は次のとおりであった。
 (年度:2月～翌年の1月)

※使用電力の二酸化炭素排出量は、2019年度、九州電力調整後の0.370kg-CO₂/kWhと2019年度、アムニティ電力調整後の0.447kg-CO₂/kWhを使用して算出した。

目標	単位	2019年度実績	2024年度目標	2024年度実績	目標達成率	目標達成の判定
二酸化炭素排出量削減 (6%)	Kg-CO ₂	177,445	166,798	182,444	91%	×
(電気使用量の削減)	kWh	53,035	49,853	48,862	102%	○
(ガソリン使用量の削減)	L	6,119	5,752	4,778	120%	○
(軽油使用量の削減)	L	51,915	48,800	58,079	84%	×
一般廃棄物排出量の削減 (6%)	kg	624	587	567	104%	○
産業廃棄物排出量の削減 (6%)	t	18.06	16.98	12.73	133%	○
水使用量の削減	m ³ /月	節水	34.9	31.4	113%	○
グリーン購入の推進	%	38	51.5	70.2	138%	○
紙使用量の削減	枚	10,654	22,436	13,698	164%	○
燃費向上	km/L	-	6.08	5.95	98%	×



6. 環境経営計画の取組み結果と評価

【1】二酸化炭素排出量1%の削減

取組目標		活動項目	達成状況
①	電気使用量の削減	空調の温度化、冷房28℃前後 暖房20℃前後を徹底する	○
		使用していないパソコンの電源を切る	○
		昼休み時間の消灯	○
		照明器具、空調器フィルターの定期的な掃除(3か月置き)	○
		LED照明への更新	○
②	ガソリン使用量の削減	アイドリングストップ	○
		急発進・急加速・急減速の禁止	○
		不要な荷物は積まない	○
		空気圧の適正確認チェック(月に1度)	○
		ふんわりアクセルエコスタート	○
		カーエアコンの適切な使用	○
		早めのアクセルオフ	○
③	軽油使用量の削減	アイドリングストップ	○
		急発進・急加速・急減速の禁止	○
		不要な荷物は積まない	○
		空気圧の適正確認チェック(月に1度)	○
		暖気運転は3分以内	○
		坂道のエンジブレーキの使用	○
		定期的なオイル交換(エンジンオイル目安 10,000K) 対象全車両	○
		定期点検の実施	○
		定期的なオイル交換(目安250h) 対象全リフト	○

【2】廃棄物排出量1%の削減

取組目標		活動項目	達成状況
①	一般廃棄物排出量の削減	分別によるリサイクルの推進	○
②	産業廃棄物最終処分量の削減	分別によるリサイクルの推進	○
		分別後のリサイクル業者への引き渡し	○

【3】水使用量の削減

取組目標		活動項目	達成状況
①	節水活動	蛇口水道の劣化確認	○
		節水ラベルの貼付け(外れていないかの確認)	○
		蛇口の水漏れ点検	○
		水道メーターのモニタリング	○

【4】グリーン購入の推進(1年1品目の採用決定)

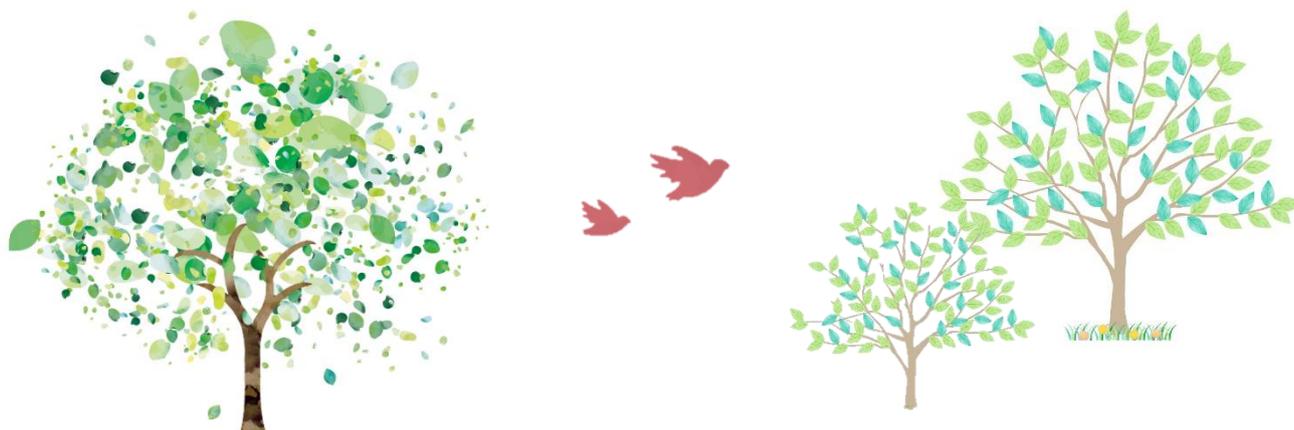
取組目標		活動項目	達成状況
①	グリーン購入相当品調査・購入	グリーン相当事務用品の調査購入	○
		グリーン購入品相当資材機材の購入、再生品利用率の把握	○

【5】紙使用量1%の削減

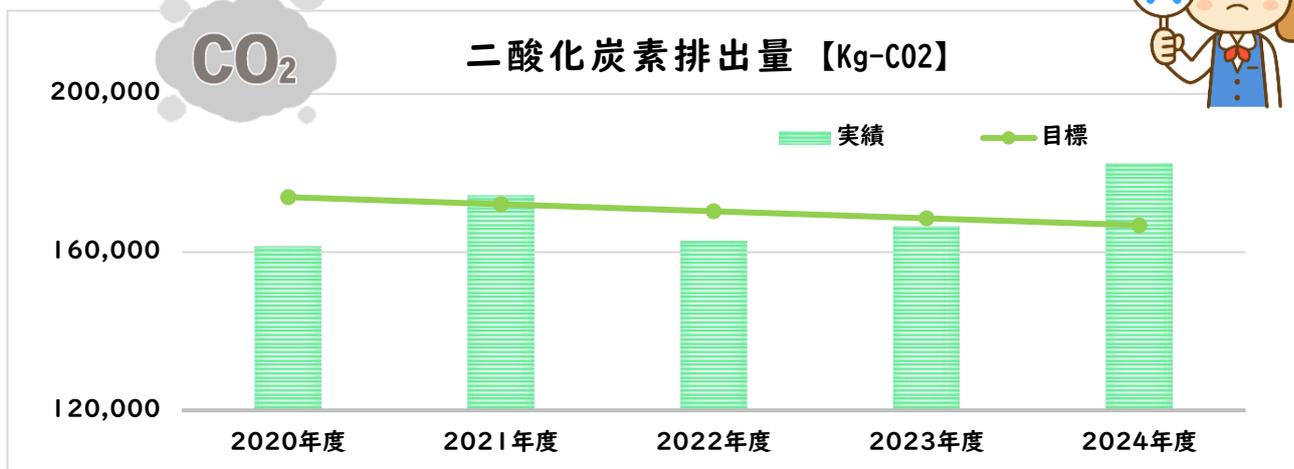
取組目標		活動項目	達成状況
①	紙使用量の削減	コピー用紙裏紙の利用	○
		ミスコピー用紙の削減	○

【6】燃費向上1%

取組目標		活動項目	達成状況
①	燃費向上	エコドライブ遵守	○
		配送ルート効率化	○
		エンジンオイルの定期点検	○



7.環境経営目標の結果と評価、次年度の取り組み内容

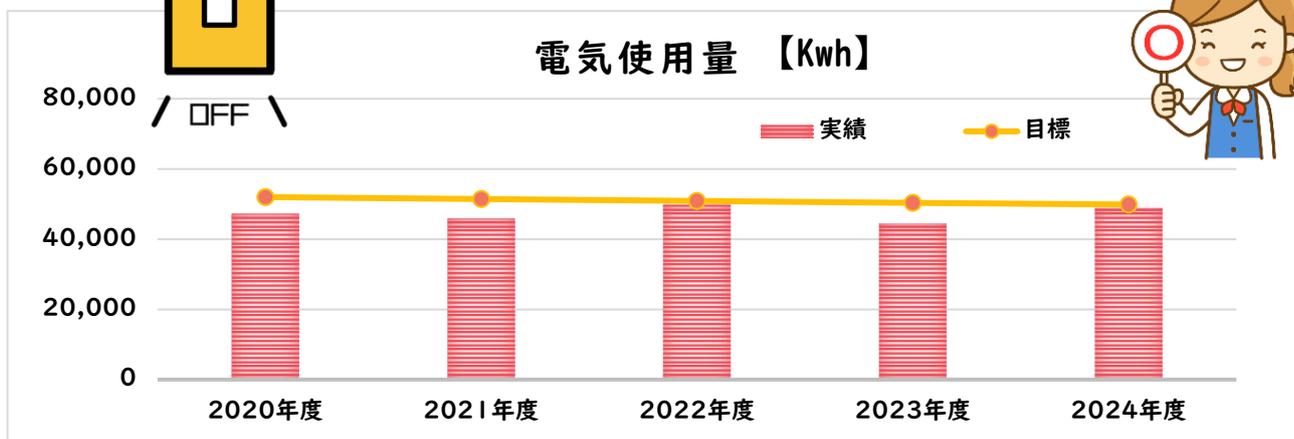


評価

今年度は、電気、ガソリンの使用量を大幅に削減することができたが、産業廃棄物の収集運搬量が増加したことで軽油使用料が増加し、結果として二酸化炭素排出量削減目標を達成することができなかった。

次年度の取り組み

- ・電気使用量の削減・ガソリン使用量の削減
- ・軽油使用量の削減・EA活動の推進



評価

こまめに電気を消すなど従業員一人ひとりがしっかりと節電を意識した活動ができていたため、目標を達成することができた。

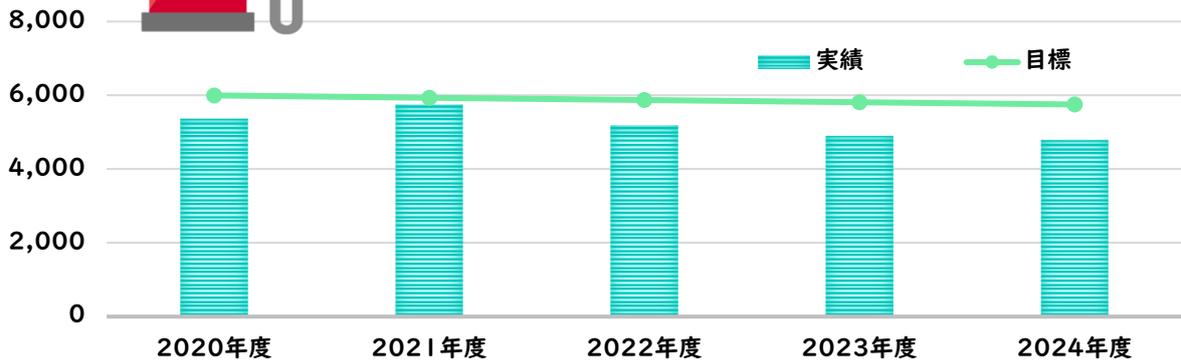
次年度の取り組み

- ・空調の温度化、冷房 28℃ 暖房 20℃前後を徹底する
- ・使用していないパソコンの電源を切る
- ・照明器具、空調機フィルターの定期的な掃除
- ・LED照明への更新





ガソリン使用量【L】



評価

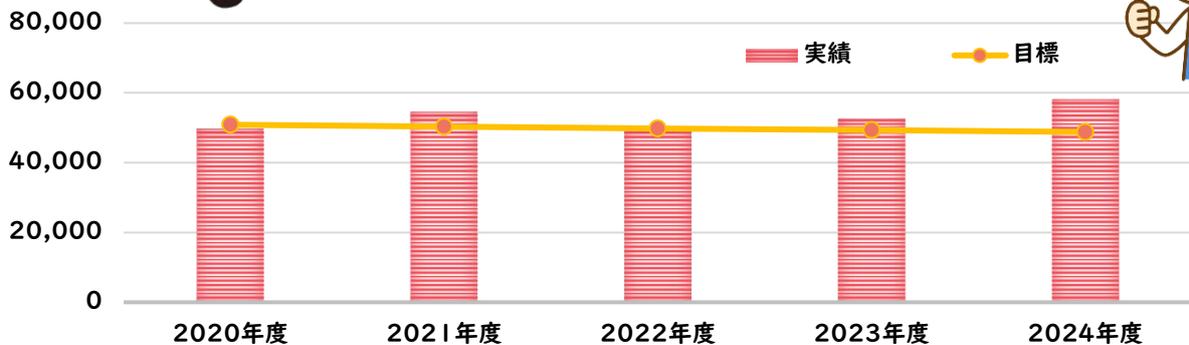
今年度は、ガソリン車の使用が少なかったこともあり目標を達成することができている。

次年度の取り組み

- ・アイドリングストップ・急発進・急加速・急減速の禁止
- ・不要な荷物は積まない・空気圧の適正確認チェック(1か月1回)
- ・ふんわりアクセル e スタート・カーエアコンの適切な使用
- ・早めのアクセルオフ



軽油使用量【L】



評価

今年度は、配車ルートの見直しやアイドリングストップなど、しっかりと意識づけができていたが、目標達成には至りませんでした。主に産業廃棄物の収集運搬が増加したことが要因となっている。引き続き、エコ運転、燃費向上を意識してできる限り削減に取り組んでいく。

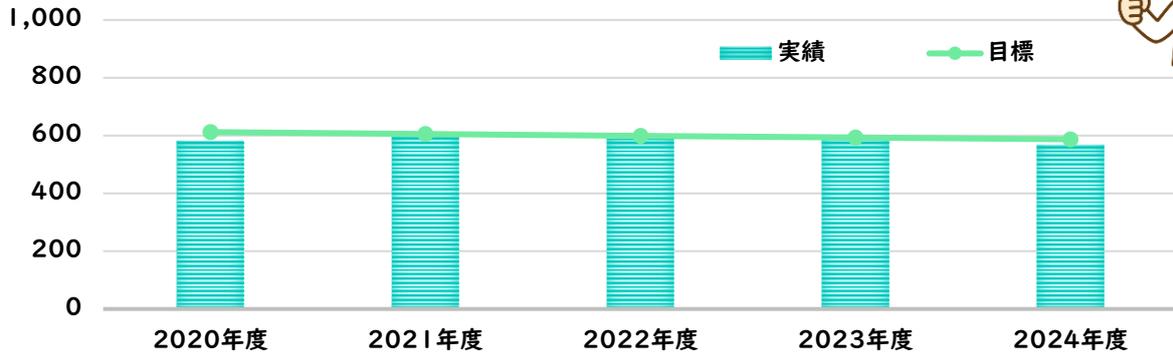
次年度の取り組み

- ・アイドリングストップ・急発進・急加速・急減速の禁止・不要な荷物は積まない
- ・配送ルートの効率化・空気圧の適正確認チェック(1か月1回)
- ・暖気運転は3分以内・坂道のエンブレキの使用
- ・定期的なオイル交換(エンジンオイル目安 10,000k)対象全車両
- ・定期点検の実施・定期的なオイル交換(目安250h)対象全リフト





一般廃棄物排出量【kg】



評価

しっかり、分別等をおこない、定期的に個人分のゴミを持ち帰ることを再確認してもらうなどしっかりと活動ができていたため、目標を達成することができている。

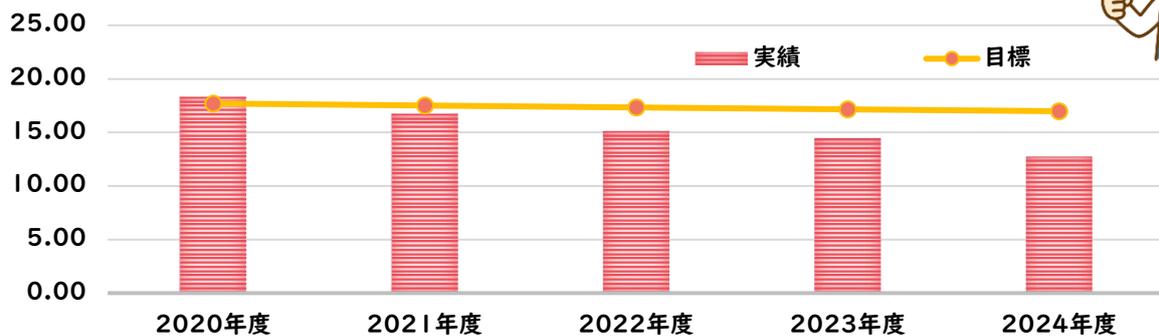


次年度の取り組み

- ・分別によるリサイクルの推進
- ・分別後のリサイクル業者への引き渡し



産業廃棄物排出量【t】



評価

今年度もしっかりと分別をおこない、再利用できるものをしっかりと使用することで、目標を達成することができている。

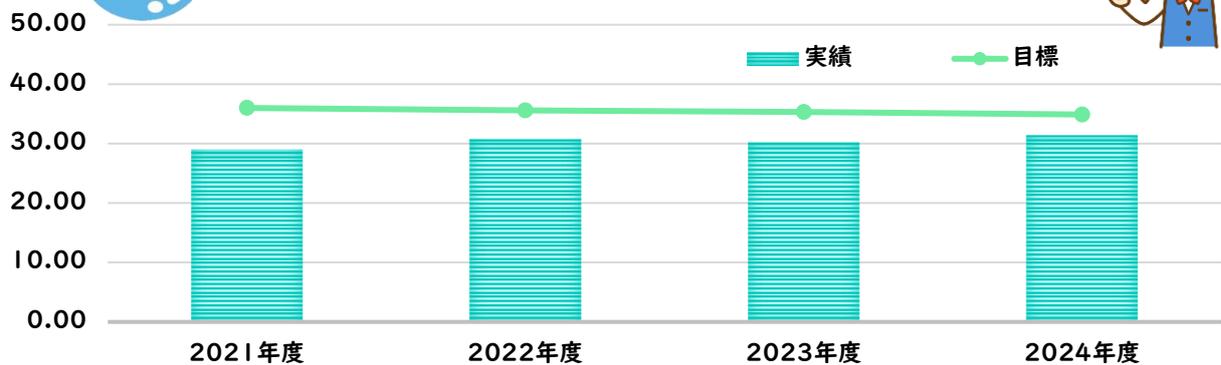
次年度の取り組み

- ・分別によるリサイクルの推進
- ・分別後のリサイクル業者への引き渡し





水使用量の削減【m³】



評価

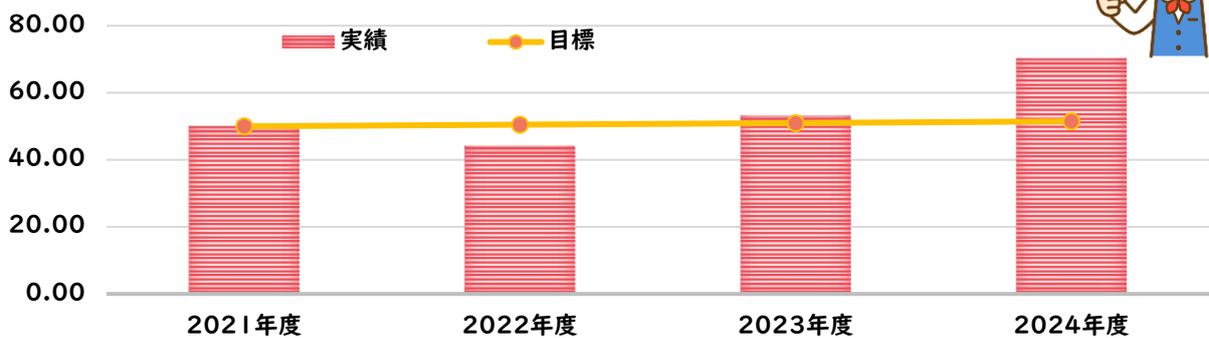
従業員一人ひとりが節水に関してアイデアをだすなど、活動内容をしっかり意識した取り組みができているため、目標を達成できている。

次年度の取り組み

- ・蛇口水道の劣化確認
- ・節水ラベルの貼付け(外れていないか)
- ・蛇口の水漏れ点検



グリーン購入の推進【%】



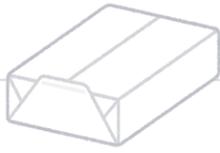
評価

今年度は、目標を達成することができている。引き続き、継続して取り組みを行っていく。

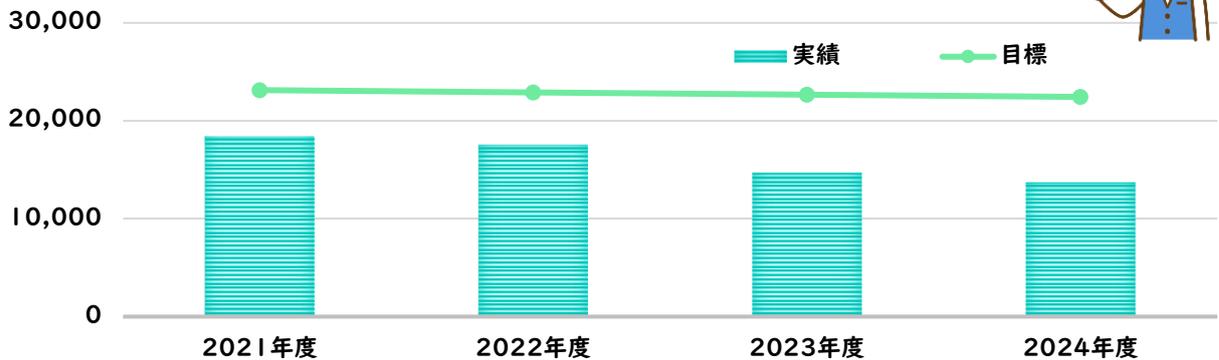
次年度の取り組み

- ・グリーン相当事務用品の調査・購入
- ・グリーン購入相当資材の購入、再生品利用率の把握





紙使用量の削減【枚】



評価

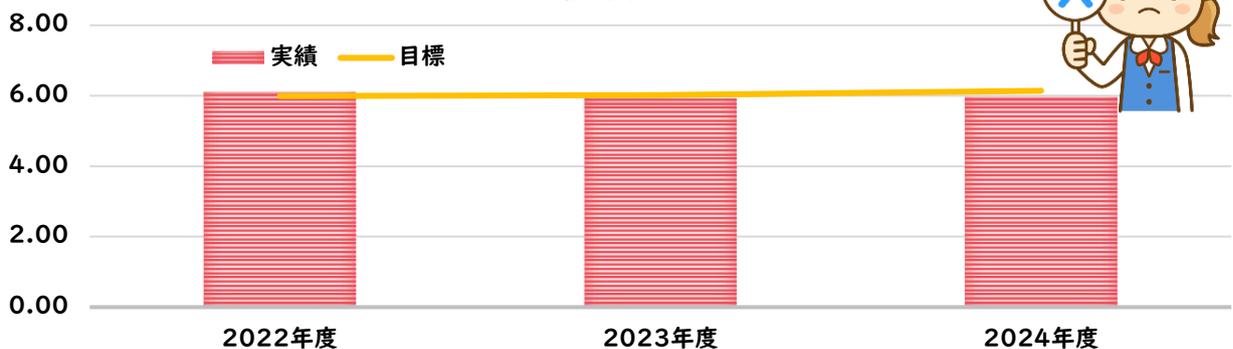
決算期などで一時的に増加するものの、今年度もしっかり裏紙の利用や、ミスコピー防止に努めるなど徹底した活動ができていたため、目標を達成することができている。

次年度の取り組み

- ・コピー用紙裏紙の利用
- ・ミスコピー用紙の削減



燃費向上【km/L】



評価

今年度も、急発進急ブレーキやアイドリングストップなどエコ運転を心がけていたが、目標達成には至らなかった。今後も引き続き、ギアの切り替え指導や配送ルートの見直しなどを意識した取り組みをおこない、目標達成を目指していく。

次年度の取り組み

- ・エコドライブ遵守
- ・配送ルートの効率化
- ・エンジンオイルの定期点検



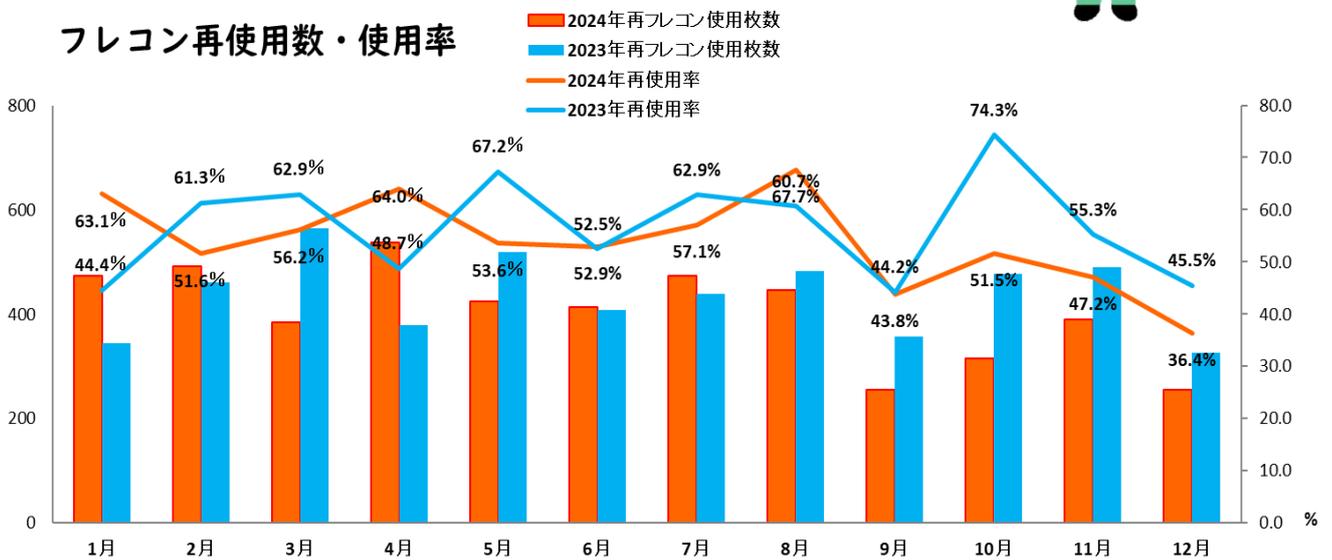
その他(活動報告)



2024年再使用率平均
53.8%
2023年再使用率平均
56.7%



フレコン再使用数・使用率



整理整頓



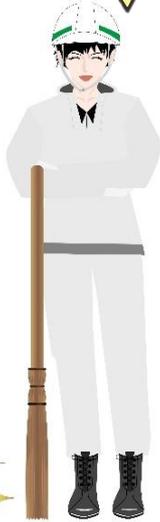
安全



効率



転倒によるケガ防止

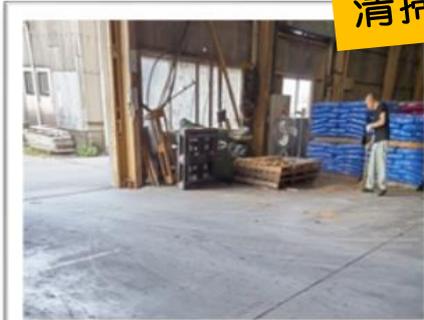


落ち釘などによるケガ防止

清掃も立派な安全対策

現場は整理整頓!

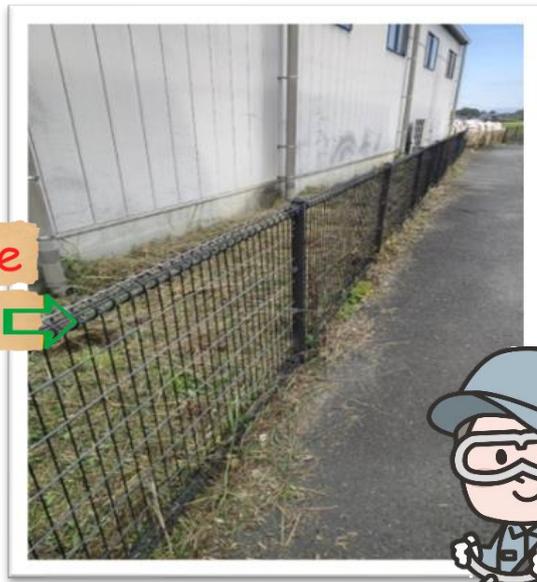
清掃活動



第二工場草刈り・清掃活動



Before
After



Before
After



Before
After

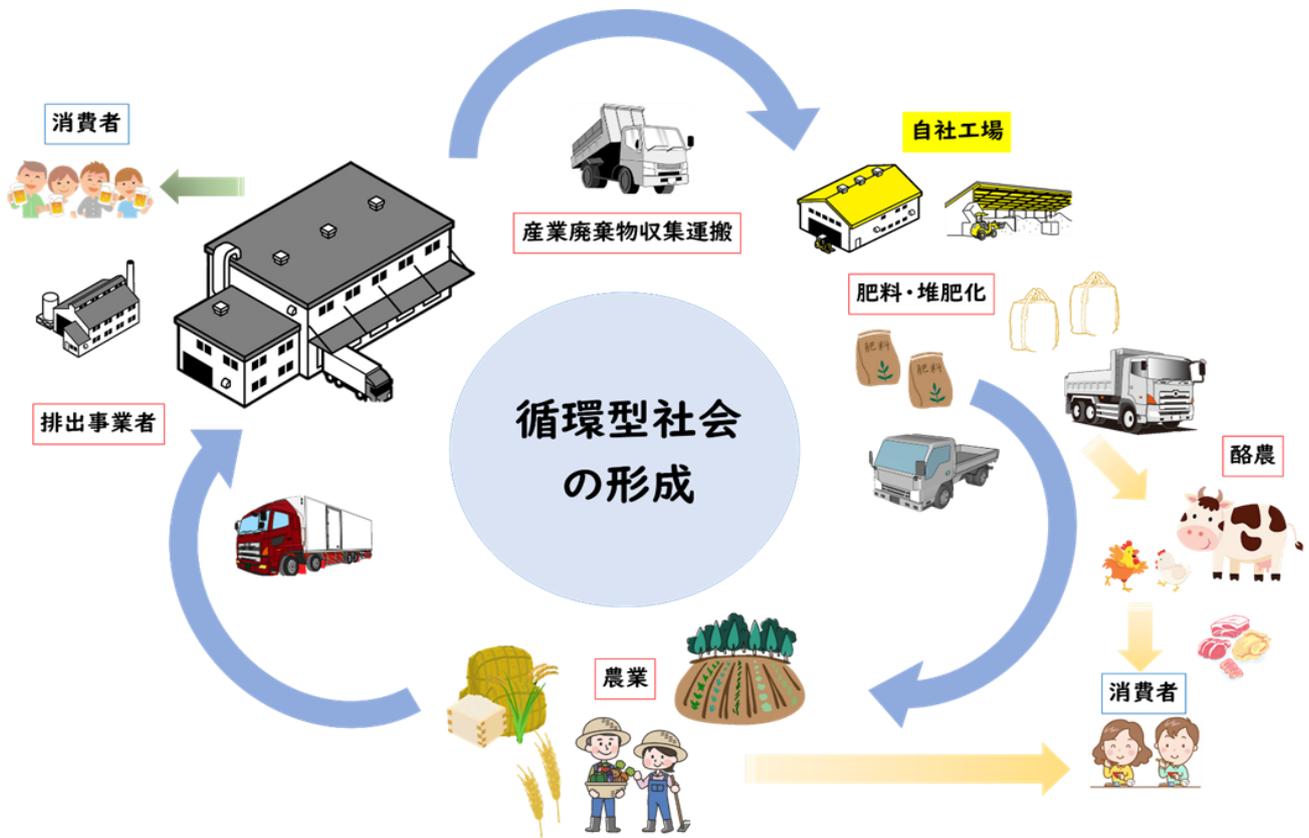


防火用水・防火訓練



防火用水、防火ポンプ制御盤の周辺と防火ホースの前には物は置かず、動線をしっかり確保しておくこと!!もしもの時にあわてないように防火用水、消化ポンプの起動の説明及び使用方法をしっかり勉強しました。

循環型社会の貢献



食品工場から排出される産業廃棄物を再利用し、飼料や肥料を製造しています。



製造した肥料を散布します



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	処理の義務	適
	処理基準の遵守	適
	委託	適
	委託基準	適
	排出者責任	適
	産業廃棄物処理責任者	適
	管理表写しの交付	適
	管理表の写しの送付を受けるまでの期間	適
	運搬受託者の義務	適
	収集・運搬業、処分業の許可の申請	適
	収集・運搬業、処分業の更新	適
	収集・運搬業、処分業の許可の基準	適
	収集・運搬業、処分業の処理基準	適
	収集・運搬業、処分業の再委託の禁止	適
	帳簿の記載と保存	適
	収集・運搬業、処分業の変更許可	適
	収集・運搬業、処分業の変更届出	適
	収集・運搬業、処分業の名義貸しの禁止	適
	収集・運搬基準	適
	保管基準	適
	投棄禁止	適
	焼却禁止	適
	報告の徴収	適
	処理施設の定期検査	適
	処理施設の維持管理	適
	事故時の措置	適
	管理表の返送	適
	虚偽の管理表の交付の禁止	適
管理票の保存	適	
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	事業者及び使用者の責務	適
	使用の制限	適
浄化槽法	浄化槽管理者の義務	適
	定期検査	適
	維持管理状況報告書	適
使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	自動車の所有者の責務	適
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	事業者及び消費者の責務	適
悪臭防止法	規制基準の遵守義務	適
フロン排出抑制法	第一種特定製品について簡易点検・定期点検及び記録作成・保存	適

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

今回の取組みの評価結果
今年度は、電気、ガソリンの使用量他、ほとんどの目標を達成することができている。軽油使用料の増加については産業廃棄物の収集運搬量の増加が主な要因となっているが、請負先の排出量に左右されるため、引き続きしっかり取組みを進め可能な限り削減してもらいたい。

環境経営システムの評価結果
環境経営方針の変更は必要なし。
今一度、従業員一人ひとりが会社の環境経営方針を理解した上で、環境活動に前向きに取り組んでもらいたい。

見直しの結果・指示
今年度、達成できなかった軽油使用料の削減については今後、産業廃棄物の収集運搬量が増加する見込みのため、環境経営目標の数値を見直すこととする。改めてエコ運転や燃費向上を意識した取り組みをおこない、目標達成を目指してほしい。

